

# 私たちの《基本的人権》を問う！

～憲法の理念\* 三原則の今、北海道・札幌での実際と民主的取り組み～

講座第5回  
エネルギーのあり方  
・安全な電気とは



【趣旨】

- 日本社会は、戦後の「高度」経済成長の一方で国民生活/福祉は先進国でも下位状況に留まり、地域も公害・過疎や高齢化・都市過密化などを含めて格差・貧困が拡大しています。
- 市場競争や集権型・大企業優位の政治の中で、現実には様々な矛盾/特に女性・子ども・老人など社会的弱者の困難性が加速しており、地球環境対策と併せ人間本位の市民社会形成が待ったなしの21世紀的テーマです。
- これら各分野の現場状況や専門家分析を報告しながら打開方向を共有していくような場＝「講座」を企画しました。

\*日本国憲法: 悲惨な第二次世界大戦後、戦争放棄・国民主権・基本的人権を柱に制定

講座: 今後(第6回)予定

シリーズ～「私たちの《人権》を問う！」

- ・2022年 11月19日(土)13:30-16:30
- ・テーマ 1) 「先住民族、国のあり方」(仮題)
- 2) 「マイノリティ/」

■日時 2022年 9月17日(土)  
13時:受付、13:30～16:30

■プログラム \*テーマ毎に小休止  
13:30 開会、趣旨説明、紹介  
13:50-14:50



テーマ1「北海道の自然エネルギー資源を自分たちで利用する～基本的人権から考えるエネルギー政策」/山形さん  
15:00-16:00

テーマ2「原発・核ゴミ処分場と人権」/井上さん  
16:10-16:25 全体交流 (or 主催者・会場説明)  
16:30- 閉会、アンケートなど

■アフター 希望者交流タイム (軽飲食代; 500円)  
16:45-18:00 講師補足、参加者意見交換など  
〈会場〉 北海道自由が丘学園月寒センター: 住所下記  
\*本施設は自然エネルギーを導入した《エコハウス》です

## ●講師プロフィール

\*山形 定(やまがた さだむ)さん

山形県出身、北大工学部・大気環境/自然エネルギー、NEPA 北海道新エネルギー普及促進協会/理事長、北海道地域・自治体問題研究所/副理事長

\*井上 敦子(いのうえ あつこ)さん

泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会/事務局長、HP「サヨナラ原発けいじばん」主宰

## ●進行 主催者スタッフ

- ・議事は概ね 45-50 分のレポート+10-15 分程度質疑
- ・全体終了後、希望者にて交流タイム(18時終了)
- ・録画し後日希望者にご案内する予定です。

〈会場〉 定員 30 名、状況をみながら衛生管理を励行。  
常備/空気清浄機・加湿器・換気消毒+アクリル板・マカート®等

主催 NPO 法人 北海道地域・自治体問題研究所 (道地域自治研)

(共催)

〒062-0901 札幌市豊平区豊平1条8丁目1-21 野村ビル TEL011-837-8261、FAX837-8262

認定 NPO 法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL011-858-1711、FAX858-1333

■会場

上記「自由が丘学園/月寒センター」3階、地下鉄東豊線「福住駅」4番出口から徒歩8分

■申込み

上記主催先、9月10日まで: TEL又は FAXにて、「自由が丘」メール: [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

費用: 資料代 ¥500円、駐車場はありません。(近隣有料 or 福住駅コーポ・パーキング)